

実験実習機器センター

センター長(併任)	村口篤
助 教 授	五味知治
文 部 技 官	森腰正弘
文 部 技 官	川原昌彦
文 部 技 官	吉井亮一
文 部 技 官	恒田則子
文 部 技 官	澤谷和子

◆ 著 書

- 1) 藤岡基二, 五味知治: C₁-transferase. 「タンパク質化学第4巻 酵素, 4-2 トランスフェラーゼ」, 小橋恭一編, 3-79, 廣川書店, 東京, 1998.

◆ 総 説

- 1) Ogawa H., Gomi T., Takusagawa F., and Fujioka M.: Structure, function, and physiological role of glycine *N*-methyltransferase. *Int. J. Biochem. Cell Biol.* 30 : 13-26, 1998.

遺 伝 子 実 験 施 設

センター長(併任)	三川潮
助 教 授	浅野真司
助 手	日比野康英

◆ 著 書

- 1) 竹口紀晃, 浅野真司, 森井孫俊, 隼田結子, 手鹿康宏, 松田彩子, 坂本晋也: プロトンポンプの構造と生理作用, プロトンポンプインヒビター<<21世紀への展開>>. 竹本忠良, 中澤三郎監修, 寺野 彰, 藤岡利生, 本郷道夫, 芳野純治編, 19-29, メディカルレビュー社, 1998.
- 2) Hayashi T., Hayashi K., Asano S., Takeguchi N., Horie S., Watanabe K., Miyahara T., and Sankawa U.: Bioactive diterpenoids from a tropical herb, *Scoparia dulcis* L, In *Towards Natural Medicine Research in the 21 st Century*, by Ageta H., Aimi N., Ebizuka Y., Fujita T., and Honda G. (Ed.) 197-202, Elsevier Sciences, Amsterdam, 1998.

◆ 原 著

- 1) Asano S., Hoshina S., Nakaie Y., Watanabe T., Sato M., Suzuki Y., and Takeguchi N.: Functional expression of putative H⁺, K⁺-ATPase from guinea pig distal colon. *Am. J. Physiol.*, 275:C669-C674, 1998.
- 2) Hibino Y., Ohzeki H., Hirose N., and Sugano N.: Involvement of phosphorylation in binding of nuclear scaffold proteins from rat liver to a highly repetitive DNA component. *Biochim. Biophys. Acta*, 1396: 88-96, 1998.
- 3) Hibino Y., Ohzeki H., Hirose N., Morita Y., and Sugano N.: Involvement of DNA methylation in binding of a highly repetitive DNA component to nuclear scaffold proteins from rat liver. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 252 : 296-301, 1998.

◆ 総 説

◆ 学会報告

- 1) 松田彩子, 浅野真司, 竹口紀晃: 胃H⁺, K⁺-ATPaseの特異的阻害剤SCH 28080の阻害. 第75回日本生理学会大会, 1993, 3, 金沢.
- 2) 浅野真司, 松田彩子, 手鹿康宏, 坂本晋也, 竹口紀晃: 胃プロトンポンプ阻害剤の反応部位の解析. 日本薬学会118年会, 1998, 3, 京都.

- 3) 木村徹, 竹口紀見, 浅野真司, 川村越: H^+ , K^+ -ATPaseと Na^+ , K^+ -ATPaseの β 鎖のキメラ体解析. 日本薬学会118年会, 1998, 3, 京都.
- 4) 日比野康英, 大関洋光, 広瀬紀子, 森田泰弘, 菅野延彦: 高度反復配列DNAの構造と転写活性化. 日本薬学会第118年会, 1998, 3, 京都.
- 5) 木村 徹, 浅野真司, 川村 越, 竹口紀見: H^+ , K^+ - Na^+ , K^+ -ATPase β 鎖のキメラ体を用いた機能解析. 日本生化学会北陸支部第16回大会, 1998, 5, 金沢.
- 6) 日比野康英: ゲノムDNAの機能的配置と細胞核骨格構造. 日本薬学会北陸支部第98回例会, 研究奨励講演, 1998, 6, 金沢.
- 7) 日比野康英, 森田泰弘, 広瀬紀子, 大関洋光, 菅野延彦: 細胞核構成蛋白質matrin 3 のcDNAクローニング. 日本薬学会北陸支部第98回例会, 1998, 6, 金沢.
- 8) 木村 徹, 浅野真司, 川村 越, 竹口紀見: H^+ , K^+ -ATPaseと Na^+ , K^+ -ATPase β 鎖キメラ体の機能解析. 生体エネルギー研究会第24回討論会, 1998, 8, 高知.
- 9) 星名聡美, 浅野真司, 松田彩子, 竹口紀見: 胃 H^+ , K^+ -ATPaseの阻害剤結合部位の解析. 生体エネルギー研究会第24回討論会, 1998, 8, 高知.
- 10) Asano S., Matsuda S., Sakamoto S., and Takeguchi N.: Mutational Study on Binding Site of Proton Pump Inhibitor, SCH 28080. 11th World Congress of Gastroenterology. 1998, 9. Vienna, Austria.
- 11) 浅野真司, 松田彩子, 星名聡美, 坂本晋也, 竹口紀見: 胃プロトンポンプ阻害剤SCH 28080の反応部位の解析. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 12) 木村 徹, 浅野真司, 川村 越, 竹口紀見: H^+ , K^+ - Na^+ , K^+ -ATPase β 鎖のキメラ体を用いた機能解析. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 13) 川田恵子, 浅野真司, 木村 徹, 竹口紀見: H^+ , K^+ -ATPaseの機能発現における β サブユニットの糖鎖の役割. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 14) 星名聡美, 浅野真司, 鈴木裕一, 渡辺敏行, 竹口紀見: モルモット大腸 H^+ , K^+ -ATPase cDNAの機能的発現. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 15) 広瀬紀子, 日比野康英, 大関洋光, 森田泰弘, 菅野延彦: メチル化による高度反復配列DNAのmatrin 3 との結合能の調節. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 16) 日比野康英, 広瀬紀子, 森田泰弘, 菅野延彦: 細胞核骨格構成蛋白質P130のcDNAクローニング. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 17) 平岡良隆, 日比野康英, 菅野延彦: シスプラチン損傷DNAに結合するタンパク質のcDNA. 第71回日本生化学会大会, 1998, 10, 名古屋.
- 18) 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦: マンネンタケ(霊芝)菌糸体より得られる多糖蛋白質画分(MTP2)によるマウス脾細胞のサイトカイン産生と細胞傷害性の増強. 第57回日本癌学会総会, 1998, 10, 横浜.
- 19) 浅野真司, 星名聡美, 松田彩子, 竹口紀見: H^+ , K^+ -ATPase, Na^+ , K^+ -ATPase間でのキメラ体を用いた阻害剤結合部位の評価・解析. 第20回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1998, 11, 富山.
- 20) 木村 徹, 浅野真司, 川村越, 竹口紀見: H^+ , K^+ -ATPase, Na^+ , K^+ -ATPase間でのキメラ体を用いた β サブユニットの機能部位の評価・解析. 第19回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1998, 11, 富山.
- 21) 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦: マンネンタケ(霊芝)菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(MTP2)の細胞傷害活性の増強. 第11回日本BRM学会学術集会総会, 1998, 11, 東京.
- 22) 小前憲久, 日比野康英, 菅野延彦: 高温培養で誘発される小核に関するFISH法及びスペクトラルカリオタイプング法による解析. 日本薬学会北陸支部第99回例会, 1998, 11, 金沢.
- 23) 大橋康宏, 鏑木淳平, 中川育也, 日比野康英, 菅野延彦: 椎茸菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(LAP1)のマウス脾細胞における細胞傷害性の増強. 第1回日本代替医療学会, 1998, 11, 金沢.

◆ その他

- 1) 日比野康英: 遺伝子組換え技術—真核細胞への遺伝子導入—. 平成9年度第4回人材育成トレーニング 富山県バイオ産業振興協会, 1998, 1, 富山.
- 2) 日比野康英: 遺伝子組換え技術—ヒトDNAを用いたFISH法と個人識別の基本—. 平成10年度人材育成トレーニング 富山県バイオ産業振興協会, 1998, 10, 富山.